



## 七夕飾り

今日は、七夕。校内には、子供たちの夢や目標が書かれた短冊が飾られています。

将来、幼稚園の先生になれますように。

家族がずっと健康でいられますように。

サッカーが上手になりますように。……………。

子供たちの書いた短冊を見ているうちに、ふと、自分が小学生の頃はどうかだっかなと考えました。

文集などの記録がありません。記憶も定かではないのですが、多分、「プロ野球の選手になりたい」と夢をふくらませていたように思います。小さい頃は、外でソフトボールや野球ばかりしていました。その後、成長とともに思いはかわり、今は、野球は専ら応援する側に回っています。

「少年よ 大志を抱け」かつての札幌農学校クラーク博士の言葉はあまりにも有名です。夢を描き、志を立て、それを実現していくことは、人が行う創造的な活動であり、その創造によって味わう喜びはとても素晴らしいものがあります。大きな夢を描き、大きな志を立てることは、幸福な人生を送ることにつながると思います。

夢をもち、向上心をもって、努力する人になってほしい。与えられた限りある時間を有意義に使ってほしい。七夕飾りには、そんな思いも込められています。



## よい習慣づくりを

「小学生の間によりよい習慣を身につけさせたい」

一生の中でも吸収力に恵まれている小学校時代は、まさに成長の黄金期です。「習慣は第二の天性」ともいわれますが、ぜひ、目の前の子供たちに、よい習慣を身につけさせたいものです。

世の中で活躍する人の共通の特徴の一つに、「努力する」「楽しんで行動する」という習慣があるとされます。毎日コツコツ努力する習慣、くり返しの持続ほど、私たちの人生にとって大切な習慣はないと言っても過言ではありません。

目的地（ゴール）にたどりつくには、くり返しが必要であり、それを用いないことには、永久に目的地に到達することはできません。歩くにしても、左右の足を交互に出すことのくり返しです。自動